【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和3年9月2日(2021.9.2)

【公開番号】特開2020-78569(P2020-78569A)
【公開日】令和2年5月28日(2020.5.28)
【年通号数】公開・登録公報2020-021
【出願番号】特願2020-8975(P2020-8975)
【国際特許分類】
Ａ４５Ｄ　34/04　(2006.01)
Ｂ４３Ｋ　8/02　(2006.01)
Ｂ４３Ｋ　8/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ４５Ｄ　34/04　５２５Ａ
Ｂ４３Ｋ　8/02　１００
Ｂ４３Ｋ　8/04

【手続補正書】
【提出日】令和3年7月20日(2021.7.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
本体と、
前記本体内に設けられ、液体が貯留される貯留室と、
前記本体内に設けられ、前記貯留室内から流出する液体を保持可能にするリザーバ室と、
前記貯留室とリザーバ室とを区画する隔壁と、
前記本体の端部に設けられ、前記貯留室に貯留された液体の塗布を可能とする塗布体と、
前記隔壁を通過して貯留室に収容された液体を前記塗布体側に移送する中継部材と、
前記隔壁に形成され、貯留室に収容される液体との間で気液交換を行なう気液交換部と、
前記リザーバ室内に設けられ、前記中継部材と少なくとも一部が接触して液体を保持する第１の吸蔵体と、
前記第１の吸蔵体と接触して第１の吸蔵体から液体の移送を許容すると共に、前記中継部材とは、その外面との間で軸方向に沿って形成される隙間によって非接触状態となる第２の吸蔵体と、
を有することを特徴とする塗布具。
【請求項２】
前記第１の吸蔵体は成形品であり、前記第２の吸蔵体は繊維を絡ませた多孔質材であることを特徴とする請求項１に記載の塗布具。
【請求項３】
前記第１の吸蔵体は、前記隔壁と一体成形されていることを特徴とする請求項２に記載の塗布具。
【請求項４】
前記第１の吸蔵体は、前記貯留室内に突出していることを特徴とする請求項３に記載の

塗布具。
【請求項５】
前記隔壁には、中継部材が隙間を有して挿通する貫通孔が形成されており、
前記中継部材との間の隙間で気液交換部を構成することを特徴とする請求項１から４のいずれか１項に記載の塗布具。
【請求項６】
前記隔壁に形成された貫通孔は、前記中継部材に対して２箇所以上当接して気液交換部を形成していることを特徴とする請求項５に記載の塗布具。
【請求項７】
前記第１の吸蔵体の毛細管力は、前記第２の吸蔵体の毛細管力よりも強く設定されており、
前記気液交換部の毛細管力は、前記第１の吸蔵体の毛細管力以下に設定されていることを特徴とする請求項５又は６に記載の塗布具。
【請求項８】
前記第１の吸蔵体の毛細管力は、前記第２の吸蔵体の毛細管力よりも弱く設定されており、
前記気液交換部の毛細管力は、前記第１の吸蔵体の毛細管力よりも強く設定されていることを特徴とする請求項５又は６に記載の塗布具。
【請求項９】
前記リザーバ室に、前記本体との間に底部を形成すると共に、前記中継部材を囲繞する環状の液体流出防止壁を設けた、
ことを特徴とする請求項１から８のいずれか１項に記載の塗布具。